

「地球環境化学」	単位数	2 単位
	学科・学年	工業化学科・第2 学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	環境問題に取り組むためには、原始の地球から豊かな地球へと生まれ変わった過程を学習することが大切です。また、今現在の地球環境の問題点を深く理解し、どのような知識や態度、技術が必要であるかを学びます。
使用教科書・副教材等	地球環境化学（実教出版）

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	考 査 範 囲
1 学期	1 地球環境と人間 2 地球環境	4	・46億年の地球の生き立ちを探る。	中 間
		5	・地球大気のおくみを知り、酸性雨、オゾン層破壊、温暖化の現状と問題点を探る。	
		6	・水環境と水質汚濁、土壌と土壌汚染の現状と問題点を探る。	期 末
		7	・環境と生態系について地球上の生態系のサイクルについての基礎知識を身に付ける。	
2 学期	3 資源の利用と環境問題	8	・枯渇性エネルギーや再生可能なエネルギー資源の基礎知識を身につける。	中 間
		9	・新しいエネルギー技術や省資源の可能性を探る。	
		10	・身近なものに注目し、廃棄物の発生抑制・再資源化の方法を探る。	
		11	・人工化学物質の環境及び人体に与える影響を認識する	期 末
		12	・環境測定の実理や簡単な測定技術を学ぶ。	
3 学期	4 環境の調査	1	・大気の実定の実理知識を学ぶ。	学 年 末
		2	・水質実定の実理知識を学ぶ。	
		3	・土壌の調査・実定の実理知識を学ぶ。	

(2) 評価の観点及び内容

関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・美しい地球環境の大切さを実感する。 ・中学校の理科や社会科で学んだことと関連させて発表する。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・人間活動のどのような行為が地球環境や私たちの安全な暮らしに関係してくるかを考察し、問題点を掘り起こす。
技能	<ul style="list-style-type: none"> ・環境の実定や、環境保全技術を化学の分野から理解し、その知識や技術が実験・実習の場で実践できるようになる。
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・環境を守ろうとする思考を持ち、その態度が現れる。 ・自然や環境を大切にすることは自分たちを大切にすることに気付いていく。
<ul style="list-style-type: none"> ・成績評価は、定期考査、ノート提出、授業中の態度を見ることにより総合的に評価します。 ・学年末の成績は、1年間の提出物・授業態度や定期考査の点などをもとに総合的に判断します。 	

3 確かな学力を身に付けるためのアドバイス

<ul style="list-style-type: none"> ・中学校までに理科や社会科で学んできたことを復習し、さらに科学的、専門的に深化させていきます。公害問題、環境問題などの知識やその時感じたことを思い出してください。そして、これから私たちが将来安全に暮らしていくための知識や技術・技能を学んでいくことへの誇りや責任を感じてください。
